

七夕のサプライズ！

ほしか保育園（山口太子園長）の園児 39 人は 7 月 8 日、お世話になっている星鹿郵便局、星鹿町警察官駐在所、星鹿公民館の 3 か所へ、七夕飾りをプレゼントしました。

星鹿町警察官駐在所に勤務する篠原省太さんはそのお返しとして、奥さんと一緒にサプライズで園児に向けてユーフォニアムを演奏しました。

間近で聴く演奏に、園児たちは釘付けでした。



水産教室が開かれました！

新松浦漁業協同組合 福島支所は 7 月 2 日、福島養源小学校の 4 年生 23 人を対象に、水産教室を開きました。

今年で 4 回目となるこの取り組みは、地元の水産業に関する理解を深めてもらおうと実施されています。この日児童は、クルマエビ養殖場を見学し、クルマエビが出荷されるまでの過程や飼料、設備を学んだ後、稚エビを養殖場へ放流し、児童にとって地元水産業を肌で感じる貴重な機会となりました。



松浦地区少補連小学生バレーボール大会

第 14 回松浦地区少補連小学生バレーボール大会（松浦地区少年補導員連絡協議会、松浦市小学生バレーボール連盟主催、松浦警察署共催）が 7 月 26 日に松浦スポーツセンターで開催されました。

この日は、市内の小学校から 6 チーム約 60 人の児童が参加し、選手たちはチームメイトや家族から声援を受けながら熱戦を繰り広げました。大会の成績は次のとおりです。

【優勝】福島クラブ 【準優勝】新星クラブ
【第 3 位】青葉クラブ、鷹島クラブ



松浦市バレーボール協会長杯ソフトバレーボール大会

第 11 回松浦市バレーボール協会長杯ソフトバレーボール大会が 7 月 19 日、松浦スポーツセンターで開催されました。

市内から 10 チーム、54 人の選手が参加し、熱いプレーで会場は大いに盛り上がりました。

大会の成績は次のとおりです。

【優勝】松浦ベスト 1 【準優勝】なっちゃん
【第 3 位】あじさい B、アレッタ



有志の力で公園を綺麗に！

松浦ロータリークラブ（山本勝治会長）は8月5日、志佐町浦免の児童遊園の清掃作業を行いました。

同クラブは社会奉仕活動の一環として、毎年清掃活動を実施しています。

この日の清掃活動は、暑い日差しが照りつける猛暑の中で行われました。市民が安全に公園を利用できるように、会員たちは汗を流しながら熱心に取り組みました。同クラブは、今年度も市内数か所の清掃活動を行う予定です。

文・長崎県立大学インターンシップ生



防犯グッズを贈呈

松浦地区連合防犯協会御厨・星鹿支部（内野伸一支部長）は7月27日、星鹿小学校と御厨小学校の全生徒へ防犯グッズを贈呈しました。

この日は、インターネットに関わる犯罪を注意するチラシや不審者対策の標語が書かれ組み立てるとアジフライの形になる紙飛行機、そして夜間でも目立つLEDライトが付いたストラップが送られました。

グッズを受け取った御厨小・黒川政信校長は、「生徒が事故などに遭わないよう指導していきたい」と話しました。



ラッコのように浮いて海で起こる「もしも」に備えて

松浦市消防本部有志職員48人で構成する長崎県着衣泳まつうラッコ会は、7月に今福小学校、上志佐小学校、調川小学校を巡回し、水難事故に備えた講習会「ういてまて」を開きました。

この取り組みは、着衣状態で水に落ちたときに無理に泳いだり、助けを呼んだりするのではなく、浮いた状態で救助を待つ指導を行うため、毎年夏休み前に催されます。児童は演劇やイラストを交えた講習会で、身を守る方法について学びました。

また、まつうラッコ会に所属する宮田慎太郎さん（今福・木場）は、長崎県下消防職員意見発表会においてペットボトル3本を繋げて救命用の浮輪として活用するため自作した「浮くばいボトル」を市内の港に設置することを発表しました。

宮田さんは、「溺れている人を発見したら、まず『うくばいボトル』を投げて落ち着かせ、それから119番通報をするようにしてほしい」と話しました。

『うくばいボトル』は、すでに今福港、調川港、御厨港、星鹿港、西田免の海岸に設置されています。



文・長崎県立大学インターンシップ生